

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 白滝末紀
東京都千代田区西神田
千代田区西神田(錦ビル)
8-7-7 (262) 2426・2932
電話(東京) 36337
電報掛

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なわれ、教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力し、ついで教育界の赤い糸を結ぶ必要であり教育界に課せられた義務でもある。(財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から)

別枠付添い旅費獲得

本年度は三千万円

埼玉県修旅委の運動みもの

埼玉県では同県教育界多年の要望だった教育委員会の修学旅行付添い旅費の別枠として年間三千万円の支給を決定、本年度から実施されることになった。これまで不足分が市町村やPTAなどによって支拂われていた付添い旅費は、今後原則として「一本化」されるわけで、修学旅行の実施面に前進をもたらすものとして関係者から歓迎されている。中心となったこの運動に取り組んだ高田福松氏は学旅委員会の県議会通過とほぼ同時に小学校長に転任したとき、はからずも県中学校修旅委員長としての責務を帯びた。

一人当たり約七千円

修学旅行の付添い旅費を別枠で出しているのは二十道府県にすぎないが、一般旅費に食いついたり、打ち切り旅費支給で済まされたり、あるいはPTAなどの負担で支弁されているのが実情。

これを突破口にして

高田福松氏の話
修旅委員会や個人の功績ではなく、県議会をはじめ教育界が丸ごとした結果だ。額としてはまだ十分とはいえないが、これが突破口となればよい。私は、私生活は員全部に支給し、小学校一千万円、中学校一千万円、高校五百万円、担当者や校長、PTA、学旅委員

来年度輸送計画決る

東海三県の中学校で

本会議のまえ、文教委員会は「一年一度とはいえず、教育に大きな関係のある修学旅行の付添い旅費は当然負担すべきだ」と超党派で決定、本会議で可決された。

【名古屋支局発】東海三県中学校修学旅行委員会の来年度輸送計画がまとまった。それによると新幹線利用は四月十七日か五月二十日、秋期は九月二十九日から十月六日まで、愛知百四十五校四千八百八十八名、岐阜百一校一千七百六十二名、三重八十校一千四百九十五名の総計三万三千七百七十九名、百九十二名。

距離制に切りかえ

北海道教委で基準改正

【札幌】北海道教育委員会では道内公立学校の修学旅行基準を全面的に改め、四月一日から実施した。費用の点では最近の経済事情に即応させたほか、高校を除く小中学校では従来の目的別の制度を撤廃し、すべて学旅からの距離制に切りかえ、児童

日本の旅 世界の旅
電算機がお手伝いする
ひまわり窓口
近畿日本ツーリスト

【札幌】北海道教育委員会では道内公立学校の修学旅行基準を全面的に改め、四月一日から実施した。費用の点では最近の経済事情に即応させたほか、高校を除く小中学校では従来の目的別の制度を撤廃し、すべて学旅からの距離制に切りかえ、児童

風紋

風が通りすぎる関東平野の真中に、風土記の丘をきたま古墳群が点在する。この古墳群の内や県外の小学生の遠征地として子どもたちの声もにぎやかだ。交通の便もよく、県立資料館も整備され、歴史の専門の方もおり、先生方の研究力をかかして、先づ修学旅行の遠征の事前指導では、見学対象として見られる「風紋」をもたせようとした。その歴史上の視点の持たせ方では、中学生高校生への学習価値にかい修学旅行地となり、現在九基の古墳があり、昭和十三年八月文部省指定の史跡となった。古墳は前方後円墳で全部南北の方向に築かれ、鏡、刀、環、馬具、埴輪など出土品も少なくない。かつて百塚の地名があったはずだ、たぐさんの古墳があったが、これは古墳時代後期のもので六世紀に築かれ、武蔵国守原原屋王一族の墓である。推定される埼玉東北埼玉郡埼玉村大字埼玉一丁の地は県名の発祥地である。万葉集巻十四に「佐野多万津」とあるが津といふから利根川が流れていた。古墳時代においては交通の要衝であり、政治の中心地であったことである。それにして、日本書紀に記述する原屋原屋王の國造は大和朝廷に對し、この川を關の地方を築城した。この川を築城した。この川を築城した。この川を築城した。

思い出の修学旅行

印象的な、瀬戸内海の船旅

●阪神—別府航路(毎日4便)
●阪神—小豆島・高松航路(毎日4便)ほか
●神戸—日向(宮崎)フェリー(隔日1便)

関西汽船

自然のなかのチロル風ホテル

〈修学旅行に最適〉

清風園 女神湖ホテル

長野県北佐久郡立科町芦田
TEL 026755-6006 千384-23

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された ススカヒレツ

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ……自分でハンドルを握る“ゆうえんち”
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき——
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。

ススカヒレツ

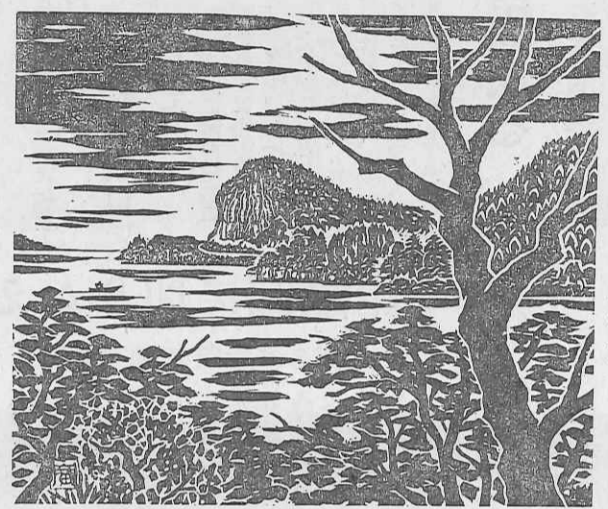
夏の研修旅行

精選コース勢揃い

申し込みはお早く!!

この夏の教職員研修旅行は海外コースと東京私学現地研修を除いて七月下旬から八月下旬にかけて、いっせいに実施される。過去十七年の実績を誇るこの全修協の研修旅行は毎年、全国教職員から自発的な好評を受け、本年も支部や専修機関の申込みが殺到している。くわしい日程などは学校に配布したポスターをご覧の上、お早くと申込みたい。出発前別の会費は次の通り。(ただし航空料金を上げるときは改訂することがあり、また原によっては実施しないコースもありますからご注意ください。)

- 北海道一周A**
 青森—青森五千二百六十円
 上野—上野六千三百六十円
 新大—新大六千八百六十円
 博多—博多七千四百六十円
- 北海道一周B**
 仙台—仙台五万五千四百五十円
 上野—上野六万三千六百四十円
 新大—新大六万八千五百四十円
 博多—博多七万四千四百四十円
- 版画「網走湖」鈴木広氏**
 (財団法人青森県教育厚生会 福祉課) 昨年度研修旅行北海道コースに参加したときの作品で、第二十三回「日本版画展」に入選作。



- 七千八百円。
 大阪—大阪七万六千六百円
 博多—博多八万二千四百円
- 北海道秘境(利尻・礼文)**
 札幌—札幌三万九千九百円
 上野—上野四万五千五百円
 新大—新大五万九千九百円
 博多—博多七万七千円
- 北海道秘境(知床・網走)**
 札幌—札幌四万二千六百円
 上野—上野四万六千七百円
 新大—新大五万五千五百円
 博多—博多六万八千七百円
- 四国一周**
 東京—東京五万五千五百円
 大阪—大阪六万五千五百円

- 新大—大阪四万八千八百円
 佐渡・磐梯・蔵王
- 東北一周**
 上野—上野四万五千二百円
 博多—博多五万五千円
 新大—新大五万五千七百円

お知らせ

「修学旅行新聞」では迅速正確な報道を期するため、すでに広報部の機能を整備しましたが、今回あらたに二支局を設置し、取材の完璧を図ることになりました。今後、各地にも支局を設ける予定です。ご期待ください。

五月一日
 財団法人 全国修学旅行研究協会
 支局長 小西 惣二郎

大阪支局
 大阪市東区深堀橋南詰(近鉄ビル)(財)全修協大阪事務所(電話06-261-6500)

名古屋支局
 名古屋市中区錦三二七-四マツオカ薬品ビル内・近畿日本ツーリスト・名古屋ユース・トナール・センター(財)全修協名古屋分室(電話052-698-111)

支局長 鬼頭 藤松

絹の道

台座の正面には桑の葉や繭の繭、側面に日本蚕糸業史、繭水商人記念、東京都多摩区人記念、昭和三十三年四月、建立」と刻んである。その石段を登って、思わず息をのんだ。道丁堂は荒れ放題で、壁も天井もない。柱だけが突き通しに残っていて、化物屋敷のようである。足の折れた石仏が庭の石どうりにもたれていて、深々と堂を覆う樹木が、わずかの風に梢を囁かし、鬼気迫る思いである。

黙して語らぬ石の垣

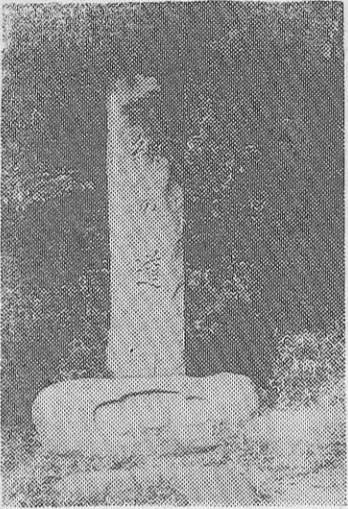
やがて桑の木は根こそぎに

三浦 富雄

この道丁堂のある丘は海抜二二三メートル。ここから西側に大山、丹沢、富士山をはじめ相模・八王子、八王子と神奈川を結ぶ横浜鉄道、平野や遠く十二州が見えた古記録にあるが、いまでは樹木が生い茂って展望はきかない。道丁堂は子(子)の神社ともいい、いまでも子(子)の蔵に祭社があるそう、まは跡かたもない。

歴史の道

< 3 >



付近一帯はもとの南多摩郡田原村で、鎌水部落は天保年間(九十九)だたという。絹のおかげで村人は仲買商として頭をもたげ、時代の脚光を浴びる。多摩ニュータウン建設のブルドザーが、山

横須賀から百余年、「山に寄りかかして」。その破壊と建の項(終わり)——郷土家屋「上は絹の道の石垣。下は黙して語らぬ」。荒れはてた道丁堂。

霊峰比叡でお泊りを

- 素晴らしい琵琶湖の夜景
- 根本中堂で早朝の座禅
- スッキリした気分で次のコースへ

収容 1,000名様

第3別館49年7月オープン
 ただいま増築しております

比叡山 延暦寺会館
 ENRYAKUJI KAIKAN
 0775-78-0047

若い時の思い出に
 30時間の楽しい旅

苦小牧
 ↓
 東京

毎日就航

日本沿海フェリー

本社/東京都港区新橋1-10-7(大和銀行新橋ビル) ☎(03)573-1911
 札幌支店/札幌市中央区南大通り西10-4(高橋ビル) ☎(011)261-6321

東京コマ旅行会館は
 第8回優秀防火建築表彰で
 建設大臣賞を受賞いたしました。

東京でのお泊りは
 安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様により有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル<全館和室>
 東京都港区六本木1丁目7番地
 TEL (03)585-1046(代表)

東京 コマ旅行会館

いらっしやいませ
 びわ湖国定公園
 近江路の旅へ

収容 600名様
 浴場 150名様
 設備 全館冷暖房
 防災 諸設備完備
 駐車場 バス20台

政府登録
 国際観光旅館 **びわ湖リゾートホテル**
 大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321